

グローバルニッチトップ企業 100選

応募要領

**平成25年10月11日
経済産業省**

1. グローバルニッチトップ企業100選の背景・目的

我が国には大変素晴らしい技術力や現場力を有して製品やサービスを提供している企業が多数存在していますが、国内市場の縮小傾向、海外との競争激化に伴い、従来のサプライチェーンの中では十分に受注を確保することが難しくなっています。

また、素晴らしい製品やサービスを提供していても、更なる国際的な市場展開やブランドの確立、提供する製品・サービスの価値に見合った高い収益率の確保など、一層の発展のための課題は非常に多い状況にあります。

これに対し、ニッチとも呼べる市場であっても、国内外の市場を一体的に捉え、適切にマーケティングを行い、そのシェアを拡大し、ブランド確立と共に高水準の利益を確保し、トップとしての地位を築くという成長のシナリオに既に取り組んでいる企業も多数存在しています。こうした企業群を明らかにしていくことは、多くの我が国企業が直面する先述の課題への取組先行事例として重要な意義を持つものと考えられます。

この観点から、こうした企業で一定の企業を「グローバルニッチトップ企業」として、認定、顕彰し、その知名度向上や海外展開を支援するとともに、これらの企業の御経験を整理することにより、グローバルニッチトップを目指す企業において、経営上の羅針盤として活用していただくことを目的としています。

また、グローバルニッチトップ企業となることを希望される皆様に対しては、「日本再興戦略」（平成25年6月14日閣議決定）に基づき、「金銭面、人材面での集中的な支援を行う」ことが決められているほか、経済産業省としても、海外展開等の政策ニーズについて、よりきめの細かい対応ができるように努めてまいりたいと考えております。

（参考）日本再興戦略（平成25年6月14日閣議決定）

一、日本産業再興プラン ～ヒト、モノ、カネを活性化する～

1. 緊急構造改革プログラム（産業の新陳代謝の促進）

⑤グローバルトップ企業を目指した海外展開促進

事業再編や事業組換え等の取組により収益性を飛躍的に向上させた企業が、果敢に海外 M&A や海外展開を進め、グローバルトップ企業（世界市場におけるクリティカルマスを獲得する企業（グローバルメジャー）や世界的な大企業ではなくとも、特定分野に優れ世界で存在感を示す企業（グローバルニッチトップ）をいう。）となれるよう、金銭面や人材面での集中的な支援を行う。

また、海外に展開した企業が海外において事業活動をする上でのリスクを軽減できるよう支援を行う。

○海外 M&A・海外展開の促進

・グローバルニッチトップを目指す中堅・中小企業等に対し、海外市場に乗り出す際に必要となる資本金や長期資金を、政府系金融機関等のノウハウを活用して重点的に供給する。

2. グローバルニッチトップ企業100選の概要

■4つの分野

グローバルニッチトップ企業100選では、下記（１）～（４）の4分野において、特に優れた成果をなした日本企業を認定・顕彰します。

- （１）機械・加工部門
- （２）素材・化学部門
- （３）電気・電子部門
- （４）消費財・その他部門

応募のあった候補者の中から認定者の選考を行い、認定し、顕彰します。

■準グローバルニッチトップ企業（仮称）

また、次に示す「グローバルニッチトップ企業」には市場シェアが低いため該当しないものの、経営思想に独自性がある、利益率が極めて高い企業等については、海外における売上が立っていることを前提として、「準グローバルニッチトップ企業」として認定・顕彰します。

■「グローバルニッチトップ企業」の考え方

グローバルニッチトップ企業100選では、「グローバルニッチトップ企業」を以下のものとして、定義させていただきます。また、大企業、中堅企業、中小企業者を表彰の対象としますが、いずれにも偏りがない手法を用いて、選定し、認定することを予定しています。

大企業 ・ ・ ・ 特定の商品・サービスの世界市場の規模が100～1000億円程度であって、過去3年以内において1年でも、20%以上の世界シェアを確保したことがあるものを対象とします。

※大企業とは、中小企業基本法第二条の「中小企業者」以外のものを指します。例えば、製造業では、資本金が3億円を超えると同時に、従業員が300人を超えることが要件となります。

また、①発行済株式の総数又は出資金額の2分の1以上が同一の大企業の所有に属している法人、②発行済株式の総数又は出資金額の3分の2以上が複数の大企業の所有に属している法人、③大企業の役員又は職員を兼ねている者が役員総数の2分の1以上を含めている法人については、大企業とみなします。

中堅企業 ・ ・ ・ 特定の商品・サービスについて、過去3年以内において1年でも、10%以上の世界シェアを確保したことがあるものを対象とします。

※中堅企業とは、大企業のうち、直近の会計年度の売上高が1000億円以下であるものとします。
ただし、みなし大企業の場合は除外し、中堅企業としては扱わないものとします。

中小企業者 ・ ・ ・ 特定の商品・サービスについて、過去3年以内において1年でも、
世界市場の10%以上のシェアを確保したことがあるものを対象
とします。

※中小企業者とは、中小企業基本法第二条の「中小企業者」を指します。例えば、製造業では、資本金が3億円以下か、従業員が300人以下のいずれかに該当すれば中小企業者となります。

■グローバルニッチトップ製品・サービスの考え方・数え方

グローバルニッチトップ製品・サービスについては、市場の区分をどのように行うかが問題となります。本グローバルニッチトップ企業100選では、「製品・サービスの用途、需要者、供給者の態様を総合的に勘案して決定する」とこととします。

例えば、同じ製品区分であっても、高級品と汎用品がある場合、それぞれの用途が異なり、需要者や供給者が異なる場合には、両者が異なる製品・サービスとして扱うことで構いません。

3. 認定候補者の募集

■必要な資格

- (1) 日本企業のうち、大企業、中堅企業、中小企業者のうち、「■グローバルニッチトップの考え方」の規模において示されている「グローバルニッチトップ企業」の定義に該当することが必要です。
- (2) 日本企業のうち、大企業、中堅企業、中小企業者のうち、「■グローバルニッチトップ企業の考え方」において示されている「グローバルニッチトップ企業」の定義に該当しない場合には、少なくとも3年以内において、海外において、製品・サービスを販売している実績を有していることが必要です。
- (3) 過去において、中央省庁又はその他の機関（地方自治体、業界団体等）による表彰制度で受賞している場合も対象となります。
- (4) 今回の表彰において、同一企業に対して複数の表彰は行いません。
- (5) 個人事業主、法人の代表者又は役員が、禁固刑以上の刑歴を有する場合は、認定対象から除外します。

※候補者の審査にあたって、書類内容の確認、追加資料（定款、事業計画など）提出のお願いや応募書類に関する質問など事務局から連絡をさせていただくことがあります（適切な対応がなされない場合や一定期間連絡が取れない場合には、審査対象から除外する場合があります）。

4. 審査・選出方法

■審査・選出方法

有識者で構成される選定評価委員会を設置し、選出を行います。応募書類による審査のほか、必要に応じてヒアリングや現地調査による審査も実施します。

■審査の基準

審査・選考にあたっては、次の評価項目を総合的に勘案して行います。

評価項目	評価内容（例）
収益性	従業員一人当たりの売上高 営業利益率 収益性とGNT製品・サービスの関係 GNT製品・サービスのリスクに関する認識
戦略性	セグメントの考え方 差別化の考え方 GNT製品・サービスの多様化の程度 納入先企業の多様化の程度 納入先との商品開発の状況
占有力	GNT製品・サービスの世界市場シェア GNT製品・サービスの世界市場シェアを10%以上維持している期間 GNT製品・サービスに係る競争者の数
国際性	海外売上高比率 販売国数

5. 応募方法

■応募書類の作成

応募にあたっては、所定の応募書類を作成していただく必要があります。応募書類は専用のホームページからダウンロードしてください。

グローバルニッチトップ企業100選のホームページ

<http://www.ifeng.or.jp/gnt100/>

※平成25年10月11日（金）に上記 URL に
募用のホームページを公開予定

(1) 応募書類の種類

Excelファイル

(2) 応募書類の提出方法

応募にあたっては、応募書類をダウンロードして必要事項を記入の上、上記の応募専用ホームページより電子メールにて送付してください。

郵送の場合には、応募書類に加えて応募書類を記録した CD-R も同封していただき、簡易書留又は宅配便にて下記の応募書類送付先まで郵送してください。

詳しくは、応募専用ホームページをご覧ください。

なお、提出された応募書類等は返却致しませんので、ご了承ください。

※提出された応募書類に不備がある場合、審査対象から除外する場合がありますのでご注意ください。

応募書類送付先

〒135-8473

東京都江東区深川2-6-1 1 藤岡橋ビル4F <未来工学研究所>
グローバルニッチトップ企業100選係 宛

応募期間

平成25年10月11日（金）～平成25年10月31日（木）

※メールの場合には、10月31日（木）17:00が締め切り

※郵送の場合には、当日消印有効

■応募書類に関する問い合わせ

応募書類提出後の確認や修正に関するお問い合わせにはお答えできませんので、十分にご確認いただいた上でご提出ください。

認定者決定前の候補者に関するお問い合わせや審査状況に関するお問い合わせには一切お答え出来ませんのでご了承ください。

■応募費用

応募に際して、手数料等は一切かかりません。但し、送料は応募者の負担とさせていただきます。

■その他

- (1) 応募書類に記載された個人情報その他の情報は、本審査以外の目的には使用いたしません。
- (2) 応募内容については、他の特許等を侵害していないこと、又は係争中でないことが条件です。

5. 認定企業の発表・認定式

■認定企業に対する通知

認定企業に対する通知は平成25年内を予定しています。

■認定式

認定企業に対して、認定式を行い（来年早春を予定）、副賞の授与を行います。なお、認定式等の詳細については追って認定企業に連絡します。認定企業及び認定内容については、経済産業省のホームページ等で発表します。

■認定後の「グローバルニッチトップ」の用語の使用

グローバルニッチトップの語句の使用に当たっては、「グローバルニッチトップ」に係る商標権を取得している事業者に配慮し、認定者は、「経済産業省認定GNT企業」、「経済産業省認定GNT製品」、「経済産業省認定GNTサービス」の様に、グローバルニッチトップか、グローバルニッチトップを省略する目的でGNTの語句を用いる場合には、「経済産業省認定」という語句を付して下さい。

■認定後の広報・PR等

認定企業の方に対しては、認定式後のアンケート・広報・PR活動、各種イベント等へのご協力をお願いすることがありますので、あらかじめご了承ください。

■認定の取消し

認定後に、個人事業主、法人の代表者又は役員が、禁固刑以上の刑に処された場合は、認定を取り消し、認定状等は返納することとします。また、意図的に虚偽の内容を記入した場合も同様とします。

<お問い合わせ先>

（応募内容について）

未来工学研究所 政策調査分析センター 小沼、三重野

電話 03-5245-1015

FAX 03-5245-1062

（本制度の趣旨について）

経済産業省 製造産業局 参事官室 佐伯、小林、斎藤

電話 03-3501-1689

FAX 03-3501-6588